

車の右左折時や進路変更の際に必要なワインカーによる合図について、県内の多くのドライバーが「きちんとなされていない」と感じていることが、県警が行った県民の交通ルールに関する意識調査で分かった。一方で、自らの運転では「正しくしている」との答えが目立ち、「出たつもり」でも周囲にうまく伝わっていないケースが多い実態がつかがえる結果となった。(岡崎創史)



# ワインカー 低い意識

意識調査は不定期。今回結果が分かった調査は昨年6月、免許更新時の講習受講者に任意のアンケート(匿名)を実施し、575人から回答を得た。

自動車、自転車、歩行者のうち、ルールやマナーの違反が目立つものとして自動車を選んだのは490人。内容(複数回答)では、「合図(ワインカー)をしない、合図が遅い」

**自分→「いつもする」**

**周り→「しない」「遅い」**

を393人(72.0%)が当てはまると言えて最多。携帯電話使用(219人)、無理な割り込み(211人)などを大きく上回った。

一方、「(自分は)決められた位置で合図を出しているか」との問いで438人(76.2%)が「毎回出している」と回答。他は「遅れて出す」「ほぼ出さない」など、その理由は「忘れている」「危険ではない」周

## 取材メモ

▽…県民の間で、正しいワインカーの合図が依然浸透していない現状を示す県警の調査結果について、川崎医療福祉大学の金光義弘名譽教授(交通心理学)は「岡山以外思われがちだが、自分の車)が科される。

## 気遣い、ゆとり心掛けて

▽…県警の調査結果によ

い、自分本位な運転をするドライバーが少なくなるとの表れと指摘す

る。この声が多いのは、正しい出し方が徹底されていないためだろう」と県警交通企画課。「合図を軽視すれば重大事故につながる恐れがある。正しい出し方の啓発とともに取り締まりにも引き続き力を入れる」としている。

## 正しい出し方啓発へ

昨年7月からは合図の徹底などを重点目標に掲げた交通県民運動を展開中(3月末まで)で、警察署ごとに横断幕を作るなどして啓発している。啓発も強めており、昨年は約1200件に上った。

「『ワインカーを出している』『不十分』との声がともに多いのは、正しい出し方が徹底されていないためだろう」と県警交通企画課。「合図を軽視すれば重大事故につながる恐れがある。正しい出し方の啓発とともに取り締まりにも引き続き力を入れる」としている。

開が出さない」「面倒」が目立った。

道交法は右左折地点の30秒手前、進路変更の3秒前から合図を出すよう義務付けている

が、県外の人らから「岡山は守らない人が多い」との声が絶えず、対策は長年の課題。県警は2005年から主要交差点などに合図を促す路面表示をしてきたが、09年の前回と同様、今回の意識調査でも「合図不履行」が目立つ違反で最多だった。

昨年7月からは合図の徹底などを重点目標に掲げた交通県民運動を展開中(3月末まで)で、警察署ごとに横断幕を作るなどして啓発している。啓発も強めており、昨年は約1200件に上った。